

「思想の本」に触れてみよう！

「思想の本は難しそう？」 「他の研究領域や、実生活で役立つの？」

実は、思想の本が関連するものは、

文学・社会科学・芸術（美学）・言語学など…非常に多岐にわたります

論文や専門書、授業・ゼミなどで当たり前のように使われるけれど、

「あまりよく分からない…」 「結局どういうことなの？」 など

人名・専門用語で困った経験はありませんか？

思想の本が、専門用語を読み解くヒントになるかもしれません！

今回の本は図書館の2階・3階から紹介しています。詳しい館内図はこちらから

<https://www.tufs.ac.jp/library/top/how-to-use/floor-guide/>



「附属図書館」HP → 「図書館を利用する」 → 「フロア案内」

本は請求記号とともに紹介しています。請求記号の意味・見方についてはこちら

<https://www.tufs.ac.jp/library/top/search/how-to-search/classification/>



「附属図書館」HP → 「東外大図書館資料のさがし方」

本の探し方が分からないときは、学習相談デスクをご利用ください！

制作：東京外国語大学附属図書館 学習相談デスク

まずは東外大図書館 2 階 NEO らぽからご紹介します！

・NEO らぽには、哲学・社会学・心理学などに関する事典・辞書などがあります

そのなかでもおすすめの本は…

☆ 『文化理論用語集：カルチュラル・スタディーズ+（ぶらす）』

ピーター・ブルッカー著；有元健，本橋哲也訳 新曜社（2003）

請求記号 A/361/524291（貸出はできません）

20 世紀後半、特に 1970 年代以降になると、文学研究・文化研究にも多種多様な理論・概念が次々と導入されました。論文や専門書に触れたことがある方は、日常生活では見慣れない用語が、多用されていて戸惑った、という経験があるかもしれません。

この本は、専門用語の意味の確認として用いることも、関心のある専門書を見つけるガイドブックとしても利用できます。

「欲望」「文化産業」「マス（大衆）」「デジタル」…など、実生活でもなじみ深い用語についても、解説がなされています。

文学・社会学・歴史学など幅広い分野で、頻出する用語について、一覧できます。

論文・専門書の読解の手助けとして、おすすめです！

応用編：上記の本には「載っていなかった」、「もっと深く知りたい」場合

現代社会学事典=Encyclopedia of contemporary sociology

大澤真幸,吉見俊哉,鷲田清一編 弘文堂（2012）請求記号 A/361/696022

ポストモダン事典／スチュアート・シム編；相原優子[ほか]訳 松柏社（2001）

請求記号 A/130/511412（2冊とも貸出はできません）

続いて、東外大図書館3階閲覧室をご紹介します！

・思想に関する本は、基本的に、請求記号「100」か「300」であることが多いです
ここでは、「300」（社会科学）からおすすめの本をご紹介します！

☆『現代文化論 新しい人文知とは何か』

吉見俊哉著 有斐閣 (2018) 請求記号 A/361/753798

「文化・資本・メディア…」授業やゼミ、あるいは日常生活でもこれらの言葉はよく使われます。

「ふんわりとしたイメージはあるけれど…」 「結局、何のことを指しているのだろう…」もやもやした状態に、ヒントを与えてくれるのがこの本です。これまで積み重ねられてきた「文化」理論を簡潔にまとめながら、写真や具体例が多く盛り込まれ、イメージがつかみやすくなっています。

また、近年出版された本であるため、インターネットやコスプレ、デジタル・アーカイブなど、新しい事象についても取り上げられています。

幅広い分野がカバーされているので、この本で登場した理論や研究の中で、気になったものがあれば、巻末の参考文献リストから、さらに学びを深めていくという使い方も可能です。

「文化」について、触れる最初の一步として、おすすめの本です！

参考：具体的な「文化」研究について、より調べたいときに…

シリーズ「メディアの未来」ナカニシヤ出版 請求記号 A/361/671383

「メディア」をキーワードに、多様な対象・領域の研究が記されています。多くが具体的な作品・技術を対象としており、文化研究のイメージをつかみやすい本となっています。また様々な思想が、どのような形で研究に活用されているか、体感することができます。

論文・授業で特定の人名が繰り返し出てくる…

・こんな経験はありませんか？

ここでは近年の思想家の人名を、一覧できる本をご紹介します！

☆ 『ポストモダンの50人 思想家からアーティスト、建

築家まで』 スチュアート・シム著 田中裕介+本橋哲也訳 青土社 (2015)

請求記号 A/118/724058

この本は題名の通り、20世紀後半以降に活躍した思想家やアーティストなどについて、50人が一人あたり数ページで取り扱われ、著作・作品について概観を見渡せるものとなっています。

「ポストモダン」という、建築や思想の領域を中心とした言葉が題名となっていますが、哲学・政治学・人類学・芸術など幅広い領域から、人物・著作が紹介されます。

20世紀後半から現在までの、人物・著作を知るきっかけにおすすめです！

(ただしこの本では不十分な部分もあるので、その人物・著作についてのレポートや、卒業論文の執筆を行う際は、原著や専門書を参照することをおすすめします)

※応用編：もう少し特定の人物について、知りたいときには・・・

シリーズ「現代思想ガイドブック」青土社 請求記号 A/135,A/361 など

上記の本で言及される一部の人物は、このシリーズ本でも取り扱われています。より詳しく知りたいときや、原著・専門書を読むときの副読本として活用できます。

人物の名前検索は、Webサービスの「JapanKnowledge Lib」も活用できます。

「附属図書館 HP」→「資料をさがす／調べる」→「データベース一覧（カテゴリ別）」→「辞書 DB・コーパス」（学内 LAN で閲覧可能／学認対象）